

Why Masroll?

目的 (オブジェクト) マスロールの作用、特性、効果:

液残留、量 (高レベル処理)

マスロール固有のマイクロファイバーコンポジット材*、ファイバークャピラリー作用

* マスロールによってのみ(ロール分野)製品化

マスロールにより開発、実現された、ロール機構、構造(機能性ロールパッド構造他)*、システム構成と、流体差圧作用

* 日、米、欧他、主要12ヶ国、特許成立 (JP No. 4484168 他)、出願済

例: マスロールによる代表的処理水準

- ≈ 0 (自然蒸発作用併存) $\sim 0.2\text{g/m}^2$ 於水系処理
- $0.3 \sim 0.5\text{g/m}^2$ 於オイル系処理

ロールパッド特性に由来する優れた形態追従、弾性変形復元性

板厚が形状追従性を超える場合(例: 4mmを超える場合)、表面凹凸材の処理など

品質、安定性 (高品位生産)

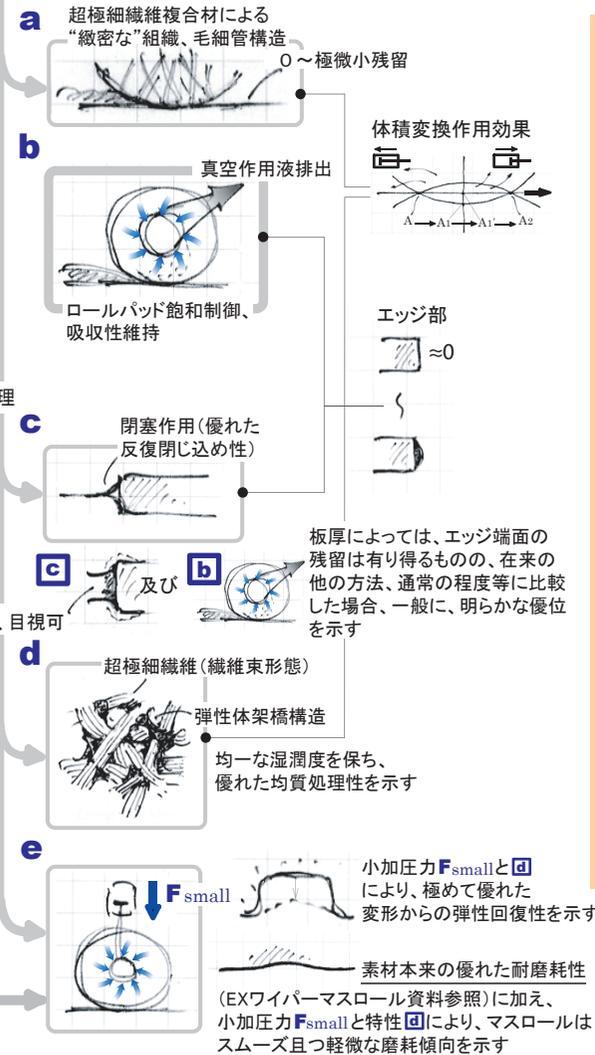
差圧作用、持続性他ロール機能、ギャップ、目視可能力と、ロール作用部特性(耐磨耗、耐損傷等の耐久特性、弾性特性他)の相互作用、相乗効果

耐久性 (高効率生産)

ロール作用部素材特性(耐久性)と、ロール機能、能力(中～低線圧運用)の相互作用、相乗効果

中～低線圧条件にて有効作用
a b c d
特性、効果による

Micro-fiber Elastomer Composite in action



在来の方法による場合

